

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を通じた武蔵野市における7つの主なレガシー

レガシーとは、「遺産」「先人の遺物」と訳されるものです。『オリンピック憲章』においても「オリンピック競技大会のよい遺産を、開催国と開催都市に残すことを推進すること」(IOCの使命と役割)と記載されており、一般的には、建築物や都市計画、スポーツ施設、経済発展、旅行者の増加などといった有形のレガシーと、知識や文化的価値の創造、記憶、教育、共同、ボランティア、経験など無形のレガシーがあり、オリンピックが終わった後に開催都市や人々の心に残るものとされています。

武蔵野市においては、平成27年度に「東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた武蔵野市の取組み方針」を策定した後に、平成28年度以降に毎年度の行動計画を作成・更新し、取組みがレガシーにつながるよう努めました。

令和2年度に策定された「武蔵野市第六期長期計画」においても、「基本施策5 豊かで多様な文化の醸成」の中で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシーの創出と継承」が明記され、年齢や性別、障害の有無にかかわらず親しめるスポーツ環境・芸術環境の整備や、国際交流、小中学校体験授業支援、市政情報や観光情報の外国語対応等をレガシーとして残していくことが明記されました。

東京2020大会がコロナ禍での開催となり、予定通り実施できなかった取組み・事業もありましたが、出来る限り多くの良いレガシーが残るよう努めます。

取組方針	主な取組み・実施事業
(1) まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○実行委員会の設置、5つの分科会で各種事業を実施 ○市の魅力発信 ○外国人おもてなし講座 ○スポーツボランティア「HANDS」 ○魅力発信しおり(来街者歓迎しおり) ○ルーマニアホストタウンサポーター
(2) スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切に、多様性を活かす市民文化を育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ○Sports for All 事業 ○パラスポーツの大会誘致 ○障害の有無に関わらずスポーツを楽しめる環境づくり ○学校教育支援 ○オリンピック・パラリンピック教育 ○ルーマニアとの相互交流 ○武蔵野アール・ブリュットの開催 ○体育施設の機能改善 ○運動習慣の定着化促進事業
(3) 誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくれます。	<ul style="list-style-type: none"> ○武蔵境駅南口のバリアフリー化 ○市の魅力発信(再) ○魅力発信しおり(再)(来街者歓迎しおり) ○体育施設の機能改善(再) ○都立井の頭恩賜公園への案内表示 ○分煙・受動喫煙対策 ○外国人おもてなし講座(再) ○吉祥寺駅周辺の臭気対策

ソフト面(無形のレガシー)

(レガシー1) 共生社会の推進

武蔵野アール・ブリュットやパラリンピック教育、ボッチャをはじめとするパラスポーツの普及などを通じて**障害への理解、多様性を大切にする地域づくり**が進展している。また、ラグビーワールドカップ2019™・東京2020大会等において国際交流の機会が増加したことにより、**多文化共生を含めた心のバリアフリーの意識**が一層醸成されている。

(レガシー2) 市民参加・協働の更なる推進

多様な団体による実行委員会での事業や、スポーツボランティア「HANDS」をはじめとした東京2020大会等に関する様々なボランティア活動などを通じて、**市民が市民を支える活動や風土**が、さらに推進されている。

(レガシー3) 誰もがスポーツに親しめる「Sports for All」の推進

各種スポーツイベント、障がい者のためのスポーツ広場、パラスポーツの大会誘致、HANDSの活動などを通じて、**老若男女・障害のある無しに関わらず、誰もがスポーツを楽しみ、スポーツによって成長できる**など、スポーツの素晴らしさを享受できる環境づくりとして本市が考える**「Sports for All」の理念に基づく活動が進展**している。また、スポーツ活動の促進により、運動習慣の定着化やパブリックビューイングなどを通じたスポーツをともに観る楽しみの普及が図られている。

(レガシー4) かけがえのない学びや経験

オリンピック・パラリンピック教育、学校教育支援（ラグビー・バレーボール・パラリンピック競技体験）、むさしのジュニア特派員、ホストタウン事業、各種スポーツイベントなどを通じて、子どもや子育て世代を中心に**貴重な学びの場・体験の場が数多く提供されている**。また、市ゆかりの選手等への応援を通じて、かけがえのない感動の記憶が残された。

(レガシー5) まちの魅力発信の取組み

外国人を対象とした市の魅力発信動画やパンフレットの作成、市の魅力発信しおりの作成、東京2020カウントダウンボードやラグビーボールモニュメントの設置、駅前イベントの実施、様々な媒体を通じた広報・PR事業等を行い、市と多様な団体・事業者等との連携による市の**魅力発信(シティプロモーション)の実践**が進んだ。

ハード面(有形のレガシー)

(レガシー6) 体育施設の機能改善

体育施設における障害者観戦スペースの設置・トイレの洋式化（一部）、陸上競技場チーム室設置、メイン・サブアリーナ天井改修、学校体育館への空調整備などを実施し、**スポーツ環境でのバリアフリー化**や市民が気軽に**スポーツを観戦できる環境**等が整備された。

(レガシー7) まち歩きを楽しめるまちづくりの更なる推進

井の頭公園への案内表示や吉祥寺駅周辺の臭気対策、武蔵境駅南口ロータリーにおけるバスの正着化（乗り降りの段差解消）や視覚障害者誘導用ブロックの改良等、各駅周辺における分煙・受動喫煙対策などにより、**誰もがまち歩きを楽しめるまちづくり**が、さらに推進された。